

令和6年度 第4回 館山市子ども・子育て会議 要録

- 1 委員会名 館山市子ども・子育て会議
- 2 日 時 令和7年2月14日（金）10：00～11：30
- 3 会 場 館山市役所本館2階会議室
- 4 出席委員 石渡委員長、中島副委員長、齋藤委員、石井委員、押元委員、高橋委員、田中委員、鈴木健一委員、吉井委員、鈴木ひとみ委員、古谷野委員、土岐委員
- 5 事務局 教育部長、こども課長、副課長、副課長兼家庭児童係長事務取扱、幼保係長子育て支援係長、黒川主事、佐藤主事
- 6 会議次第
 - 1 開 会
 - 2 議 事
 - (1) 館山市こども計画に関するパブリックコメントへの意見集計結果報告【資料①】
 - (2) 館山市こども計画の最終案について【資料②】
 - 3 その他
 - 4 質疑・意見交換
 - 5 閉 会

■ 議事

(1) 館山市こども計画に関するパブリックコメントへの意見集計結果報告

- ・事務局（子育て支援係長）より説明

(2) 館山市こども計画の最終案について

- ・(株)ぎょうせい研究員より説明

<質疑応答>

【鈴木委員】

- ・これまでも子どもの遊び場のニーズがあって、今回のパブリックコメントでも子ども居場所や遊び場という声が出ていたが、それに対する答えが、事業番号18の「検討します」という程度となっている。本当にそれでよいのか。

【事務局】

- ・こどもの居場所については国も力を入れており、これからより注目され必要とされていること。お金の話もそうだが、多岐にわたるため関係課との協議が必要な壮大なものとして認識している。決して後ろ向きではなく、検討をしていくとしている。昔は自分たちで遊び場を作っていたが、今はそういう仲間も少なくなっている。我々公もそうだが、民の力も借りて協力していきたい。

【齋藤委員】

- ・先ほど訂正のところで基本目標5の(3)と(5)は基本目標4に係ってくるので削除しますと言っていたが、わざわざ基本目標4と5を分けている理由ってなんだろうと思った。どこをポイントにして読み解けばいいのかわからなくなった。

【ぎょうせい】

- ・5つに分けるのはよくあること。少なくすると中身がごちゃごちゃしてしまう印象。まず、基本目標1が基本的な教育・保育サービス、基本目標2が家庭への具体的な支援、基本目標3は母子保健などの内容がメイン、基本目標4は地域での教育に寄せた内容、基本目標5は安心安全に寄せた内容となっている。

【齋藤委員】

- ・基本目標4の(5)子どもを取り巻く環境改善の推進は、交通安全と結びついてしまうので、少し違和感がある。保護者としては交通安全が順位高くなるかなという印象はあるが、先ほどの説明で棲み分けはわかった。

【田中委員】

- ・P46の「こども家庭センター」はどこにあるのか

【事務局】

- ・来年度新しく設置する。まだ市民への広報はしていないが、場所はコミュニティセンター内になる。児童福祉法の改正に伴い国が努力義務化したもの。母子保健部門と、こども課の虐待を中心とした児童の支援に関する部門を合わせる。

【田中委員】

- ・若いお母さん方に広く周知した方がよいと思う。
- ・事業番号 35 のおさがり利用側方支援はとてもよいと思う。
- ・事業番号 110 の小学生に防犯ブザーを配布するためとあるが、今も配布されているのか。

【齋藤委員】

- ・市からではないかなと思う。防犯協力会から小学校を通じていただいていたと思う。入学説明会のときに保護者から「子どもに買って持たせた方がいいか」という質問がでて、学校が「おそらくもらえるから」と回答していた。もしそういう事業をやっているなら、学校と連携をとって周知してもらいたい。

【委員長】

- ・こども家庭センターがどういう機能を果たしていくのか。こども、家庭といういろいろな部署にまたがっていて、どこに言えばいいのか非常にわかりにくい。役割というのを市民にしっかりと伝えてほしい。
- ・おさがり支援は、元気な広場で実施しているが、壊れかけのものを持ってこられたり、物置がすぐいっぱいになるなど、難しいところもある。こども課と相談して進めていく。
- ・こども計画はこれが最終案となる。子ども・子育て会議としてこれを承認するというのでよいか。意見がないようなので承認とする。

■ その他

【古谷野委員】

- ・パブリックコメント 5 番の公園でのボール遊びについて。中央公園がボール遊びできるとなっているが、バスケットボールをしていたら「ダメ」と怒られた子がいたり、北条小学校の先生から、「中央公園でボール遊びしてはいけない」と教えられ、ボール遊びはできないと認識している子もいる。遊んでいいなら、遊んでいいスペース、ダメなスペースなどあれば教えていただきたい。

【田中委員】

- ・自転車の練習ができる広い場所がほしいという声をきいた。ストライダーなどの練習もできる場所があるといい。
- ・石川県には屋内の遊び場もたくさんあるときいた。屋内の遊び場もあるといい。

【課長】

- ・ここであればこういう遊びしていいというエリア分けが必要なのか、この公園はボール遊びをしてもよいとお知らせするのか、今は回答できないが、都市計画課に伝えて、考えていきたい。
- ・自転車の練習する場所は、こどもの遊び場のところでもお答えしたが、後ろ向きではなく、前向きに検討していきたい。

【田中委員】

- ・企業の空きスペースを使わせてもらえるといいと思う。

【中島委員】

- ・中央公園で自転車の練習をしている親子もみる。保護者が配慮しながら既存のスペースを活用していることもある。なんでもダメではなく、既存のものを使いながら新しいものを設置するというのは見直してもらいたい。

【鈴木委員】

- ・館山中学が今度空くので、あの広いスペースをうまく活用してはどうか。優先的に子どもの場所として考えていくのもよいのでは。

【中島委員】

- ・中央公園のローラースケート場をスケートボード場にしてほしいと市への要望をだしている。これは子どもたちからの意見。騒音の問題もあると聞かすが、館山中学が越してくればどっちみち賑やかになる。時間を決めて遊べる場所を作ってあげてほしい。

【高橋委員】

- ・子どもたちが生きる力を育むというのが重要になってくると思うので、どこまでサポートするのかというのがポイントになる。会議冒頭に議長からわくわくするような話があったが、この計画書を見て、さらにブラッシュアップして、枝分かれしていくといいなと思った。海岸沿いに敷地があるので、自転車遊びやスケートボードなどの使い方もできるのかなとも思う。ささやかなことでもいいので提案してもらいたいし、こちらからも提案させていただきたい。

【田中委員】

- ・パブコメの3番の音楽室について、YOSHIKIは館山っ子の自慢だと思う。YOSHIKIは松田屋でグループを組んでやっていたので、音楽やダンスなどできるスペースがあると子どもたちにはとてもいいと思う。

【議長】

- ・小学生・中学生の居場所がないという声が多いように思う。

【中島委員】

- ・おさがり利用側方支援について、中学の制服や柔道着などが学校のバザーで出品されていて好評だったが、コロナ以降はバザーが開催できていない状況がある。ジモティーと千葉県がコラボしてちばリユースクールという事業をやっている。保護者に周知されるといいと思うし、館山リユースクールがあるといいと思う。

【齋藤委員】

- ・館山中学校ではPTAでリユース事業をやっているが、制服が変わったばかりで集まらない。ちばリユースクールはすぐで配信されたので保護者にも周知されている。制服など集めたところでどう配布すればいいかが課題だったので、ジモティーなどうまく活用して行っていきたい。

バザーはPTAの活動としては保護者の負担が大きく、集めても残ってしまう物も多いので、保管場所にも困っていた。バザーは復活しないと思うが、ジモティー等うまく活用して社会福祉協議会とも連携をとりながらやっていきたい。

【吉井委員】

- ・学校から保護者へ「制服をください」とは安易には言えない。福島から避難してきた方のために卒業生へ電話したこともあるが、なかなか集まらなかった。制服の購入は保護者の負担が大きいので各学校前向きに考えているとは思いますが、なかなか難しい。

【議長】

- ・本日の会議ではこども計画の最終案について話し合いをした。この会議は計画の進捗管理をしていく場でもある。計画を進められるようにお互いに協力し合いながら、今後もいろんな意見をだしてもらいたい。こども計画最終案を承認とする。